



しじゅうから

小鳥の森で観察してみよう 140

メジロ

分類 スズメ目 メジロ科

大きさ：11～13cm

鳴き声：チー、チュイー

見られる時期

・1年中

小鳥の森で見られる場所

・小鳥の森全域

さとう みずき さん（11才）が描いてくれました。



1月 いきもの森予報

植物の冬の服と顔

はく息が白くなる1月。小鳥の森では気温が氷点下（0℃より低い温度）になるほど冷え込みます。そんな寒い森ですが、植物たちは静かに、あたたかな季節に向けての準備をしています。

その準備とは「冬芽（ふゆめ）」。枝の先や表面に花や葉のもとになるものが小さくたたんで入っている芽です。小さく変形した葉がウロコのように重なりあって、寒さや乾燥から大事な中身を守っています。宝物のカプセルみたいですね。

冬芽の大きさや形は木の種類によって色々。さわった感じも違います。フサフサの毛が生えていたりベタベタの液が付いていたり。きびしい冬を乗り越えるための大切なコートなんですね。

また冬芽の下には「葉痕（ようこん）」と呼ばれる葉が落ちたあとがあります。その模様が目や鼻に見えて顔のような植物も。葉のない冬だからこそ観察しやすい葉痕。たくさんの表情でみなさんを待っていますよ。



ミヤマガマズミ



トチノキ



葉痕（ようこん）

ケヤキ

森も大そうじ?・にぎわう冬

12月。強い風が吹きあれて、一気に園内の葉が落ちました。広くすっきりとなった光景は、森がお正月に向けて大そうじをしたようにも感じました。しかも冬は空気中のちりや水蒸気(すいじょうき)が少なくなる時期。遠くまで見えやすく、聞こえやすいのです。にぎやかだった2023年の終わりを少しお知らせします。

さっぱりとした園内で目に付くようになったのは、あちこちの枝についているポツコリとしたふくらみ。これは木に止まった鳥たちの丸いシルエット。冷たい空気を防ぐために羽毛を立てるため、いつもよりコロンとかわいい姿になるんです。また、エナガの集団が枝から枝へ移動するのを見つけ、つい笑顔になってしまいました。

がらんどうな森の中を、「ザクザク」と落ち葉を踏みながら歩いていると、キツツキが虫を探して木をつつく「コココココ」という音がひびいてきました。



葉が落ちた森



エナガ



(キツツキの仲間)アカゲラ

自然のお便り

鳥の名前のものがたり

野鳥にはそれぞれ名前が付いています。みなさんの周りにいる身近な野鳥。ふつう過ぎて考えたこともないかもしれませんが、どうしてそんな名前が付けたのでしょうか。その由来をいくつかご紹介します。

・メジロ

→目の周りが白いから

・キジバト

→背中中の羽が「キジ」のメスに似ているから

・エナガ

→尾羽が水をくむための道具の柄杓(ひしゃく)の「柄(え)」のように長いから

みなさんも気になった名前の由来を調べてみると、おもしろい発見があるかもしれません。

2024年の新年に向けて

あけましておめでとうございます

旧年中は小鳥の森をご利用いただき誠にありがとうございました。全国から来園された皆様に改めてお礼申し上げます。

本年も多くの皆様が自然に親しみながら学びを深められる森づくりを努めていきます。また、たくさんの生き物が住む森を目指し、環境保全にも力を入れていきます。

皆様が健やかにお越しいただけることを、スタッフ一同心よりお待ちしております。

*小鳥の森通信「しじゅうから」はホームページでカラー版をご覧になれます。

*園内の環境放射線量の詳細はホームページをご覧ください。

福島市小鳥の森(ネイチャーセンター) 開館時間:午前8時30分~午後5時

《入場無料》休館日:毎週月曜日(祝祭日の時はその翌日)

※2023年12月29日(金)~2024年1月3日(水)は年末年始の休館となります。

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel:024-531-8411 fax:024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2024年1月号№451/企画・発行:福島市小鳥の森/NPO法人野鳥の会ふくしま



小鳥の森HP